

平成31年度 学校経営の基本構想

一人一人の子どもを徹底的に大切にする

Society5.0に向けた人材育成～社会が変わる、学びが変わる～

「公正に個別最適化された学び」の実現

「基礎的読解力や数学的思考力などの基盤的な学力を全ての子どもが習得すること」
持続可能な開発目標（SDGs）

「持続可能な社会」の構築に向けて、「教育が全てのSDGsの基礎」

「地域を学ぶ、地域で学ぶ、地域から学ぶ」生まれ育った地域や文化への誇りを培う

新たな価値を創造できる持続可能な社会の担い手

⇒『伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を創造する子ども』の育成

子どもの「主体性」と「社会性」の育成を目指し、

『自ら学ぶ力』と『自ら律する力』を学校全体の教育活動の中で高める
カリキュラム・マネジメントの視点のもと、

PDCAを意識し、教育課程に基づき、

組織的かつ計画的に日々の教育活動の質の向上を図り、

子どもの姿や地域の状況に応じた創意あふれる取り組みを展開する

*家庭での自学自習の習慣化・重点課題

《学校教育目標》

「夢をもち 自らの未来を創る 子どもの育成」

～考え 判断し 実行できる子～

『自ら学ぶ力』

学ぶことに興味や関心を持ち
自己の進路や将来の生き方を関連付けながら
目標実現への見通しを持って粘り強く取り組むとともに
自己の学習活動を振り返り、よりよい方向で実践できる力

好奇心や興味関心、
夢や希望を基盤とする

『自ら律する力』 地域や社会との関わりの中で、

他者への思いやりや寛容、人と人との絆の大切さを実感しながら
自らの生活や人生、地域・社会をよりよくするため、
時と場に応じた正しい判断ができる力

他者や社会との関わりの中で
醸成される豊かな人間性や道徳性、協調性を基盤とする

《教育方針》

新学習指導要領 「生きる力を育むことを目指す」

平成32年度全面実施に向けて (平成31年度教科書採択)

『生きる力』は「学力の3要素」からなる

確かな学力 〈知〉

豊かな心 〈徳〉

健やかな体 〈体〉

予測不能な未来社会

学校での学び「教えられたこと＝学んだこと」が

社会に出た時にそのまま「活用できる」とは限らない

↓

答えのない課題に対し、多様な他者と協働する中で、

新たな考えを生み出しながら、

自分なりの解決策を見いだし、実行していく力

『考え、判断、実行』

「資質・能力の3つの柱」

何を理解しているか、何ができるか

知識及び技能

理解していること・できることをどう使うか

思考力、判断力、表現力

どのように社会と関わり、よりよい人生を送るか

学びに向かう力、人間性

*学校の教育活動すべてを通して

〈目指す子ども像〉 知・徳・体

自ら学び、豊かな人間性を持ち、たくましく生きる

- 自ら進んで学ぶ子
- 話し合い考え、伝え合える子
- 自分も人も物も大切にできる子
- 規律（約束・ルール・時間）を守る子
- 健康・安全に気をつける子
- 郷土や伝統を愛し、学校や地域に貢献する子

〈目指す学校像〉

よりよい社会につながる学校

○子どもも教職員も

確かな人権感覚と

社会性を育成する場

○全教育活動が学びの場

○保護者・地域と

連携・協働する場

○保幼小の接続を大切にして、

小中連携し

9年間を見通した学びの場

○「ふるさと板橋」の思いを

醸成する場

〈目指す教職員像〉

カリキュラム・マネジメントの視点をもち

子どもへの愛情と 職務に対する誇りと責任

○子どもの命を守りきる意識をもった教職員

○社会人・教育公務員としての自覚と責任をもって

考え方行動できる教職員

○絶えず専門職としての力量を向上させるために

自己研鑽する教職員

○チーム板橋という組織の一員としての

同僚性を発揮できる教職員